

## ミヤマキケマン (学名: *Corydalis pallida* var. *tenuis*)

[ケシ科 キケマン属]



▲ミヤマキケン

ミヤマキケマンは漢字では「深山黄華鬘」と書く春植物の1つです。名前に深山がつきますが、平地や低山地で見ることができ、只見町でも道ばたで見ることができます。また、華鬘とは仏前けまんを飾るために使われる仏具で、うちわ型の板に花鳥や天女などの透かし彫りが施されており、ミヤマキケマンがたくさんの花を繊細につける様子からこの名前がついたそうです。

落葉広葉樹林の木々は春に葉を広げはじめ、初夏には青々とした葉を繁らせますが、春植物はそれより早く雪解けとともに芽を出し、葉を広げ、花を咲かせます。ミヤマキケマンの花の開花時期は只見町では5月頃で、花は実となり種子を落とすと間もなく葉を枯らし、地上部は消えてしまいます。落葉広葉樹が完全に葉を広げるまでの2ヶ月たらずの間だけ、地上部が見られるはかない存在のミヤマキケマンですが、アルカロイド系の毒を持っています。きれいな薔薇には棘とげがあると言いますが、きれいなミヤマキケマンには毒があるので山菜取りの時には気をつけましょう!

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

### 企画展示

「春植物の生活史 つかの間の季節を生きる色とりどりの花たち」  
期 間：3月12日(土)～6月13日(月)

### 自然観察会

#### 「春の花観察会」

日 時：4月30日(土) 13:00～15:00

集 合：只見町ブナセンター 12:45

観察地：黒谷川沿い ※開花状況によって観察地を変更します

持ち物：飲み物、雨具、長靴が好ましい 参加費：1,000円(保険料を含む)

#### 「春のブナ林観察会」

日 時：5月1日(日) 10:00～14:00

集 合：森林の分校ふざわ 9:30

観察地：癒しの森 持ち物：昼食、飲み物、雨具、長靴が好ましい

参加費：1,000円(保険料を含む)

※自然観察会の参加には事前の予約が必要です。予約締め切りは4月29日です。

※悪天時は中止することがあります。

※観察会参加者はブナセンターに入館することができます。